

記録担当：居川

地盤品質判定士会中部支部
令和4年度 第5回 幹事会 議事録

- A. 日 時 2023年1月19日（木） 15：00～16：45
- B. 場 所 基礎地盤コンサルタンツ（株）中部支社 1F 会議室及び ZOOM
- C. 出席者 千野（W）、桃井、利藤（欠）、向井、谷口、長沼、居川、高森、荒井（W）、小嶋（W）、斎藤（W）、堀中、倉橋（欠）、山本（W）、品川（欠）、金森（W）、山名、植田（W）、小山（W）、後藤（W）
（（欠）は欠席、（W）は ZOOM 参加、敬称略、順不同）

D. 配布資料

- ・報告-1 令和4年度第4回議事録
- ・報告-2 本部第5回幹事会議事録
- ・報告-3 欠陥住宅東海ネット（弁護士）から中部支部への協力依頼
- ・審議-1 技術講習会報告（なし）・防災フェスタ報告（行事G）
- ・審議-2 来期計画審議（1. 総務G、2. 行事G、3. 調査G、4. 広報G）
- ・審議-3 来期予算計画
- ・審議-4 その他（NHK スペシャル「住宅地に潜む“盛土リスク” 阪神淡路大震災に残された課題」報告）

E. 報告事項

1. 前回議事録の確認

桃井副支部長より前回議事録の確認があった。修正事項は特に無し。

2. 本部幹事会報告

第4回本部幹事会の報告（千野支部長）。

- ・相談分野・相談件数の集計について、技術委員会から各支部にメールで依頼がある。
- ・イベントがバッティングしないように各支部で計画しているイベントは講習会日程表に記載する（←防災フェスタについてもいれる）。
- ・地盤品質セミナーの申し込みが少ないのでPRをお願いする（1/20 締切）。
- ・年間の収支状況について、各支部で収益を上げる取り組みをしてほしい。
- ・セキュア SAMBA に「各種運用書類」フォルダを作成したので見てほしい。

3. 欠陥住宅東海ネットからの支部への協力依頼について植田幹事より報告があった。

- ・10/3 に打合せを行った（ZOOM）。
- ・裁判案件のため、詳細な事項には言及せず、考えられる要因のみの説明を行った。
- ・今後も欠陥住宅東海ネットとはつながりを持っていきたい。

F. 審議事項

1-1. 技術講習会報告分の確認

- ・行事 G に対応をお願いしたい。

1-2. あいち防災フェスタ出展について堀中幹事より報告があった。

- ・天気が悪く客は少なめだったが雨宿りも兼ねての来客があった（約 100 名）。
- ・地盤相談には 8 件の相談があった。
- ・来年度も引き続き行いたい。
- ・名大から借用したパネルの原稿（データ）は、使用後は消去することとなっているが、来年度の出展を踏まえて支部で保管（千野支部長が保管）することです承を得ている。来年同様の申請を行えばよいとのこと。

2. 来期計画審議

(1) 総務 G

長沼幹事より令和 4 年度ふりかえり及び令和 5 年度活動計画について報告があった。

- ・期中の幹事の追加に関する支部規約について、「2. 期中での選出にあたっては幹事会の承認によるものとする」との追記を行うことを提案した。
→特に異論はなかったので、次回幹事会で決定することとする。
- ・令和 5 年度総会については、開催時期は名簿更新後に案内を出せるタイミングとしたい。（名簿更新は 4/7 頃）他支部は 5 月～6 月に実施している。5 月中旬ごろがよいのでは。また、今年度の話題提供は好評だったので行いたい。
→総会企画については次回幹事会で決定する。
- ・総務 G 内での作業分担のため、マニュアルに基づいた運営・管理を行いたい。

(2) 行事 G

堀中幹事より令和 4 年度ふりかえり及び令和 5 年度活動計画について報告があった。

- ・2023 年 9 月～10 月頃に中部支部講演会を実施予定。テーマを決める必要あり。
- ・現地見学会、事例発表会、勉強会等の開催を検討。
→次回幹事会に提案が欲しいので、行事 G 内で話し合ってもらいたい。
- ・自治体との意見交換会等の開催を検討。
→調査 G と連携して実施したい。
- ・2023 年 11 月頃、あいち防災フェスタに出展。
→当日の服装を判定士会と分かるようにしたい→判定士会のビブスを利用してはどうか。
- ・その他
→技術士会の全国大会が来年度は名古屋で行われる予定。出展できるとよいので確認していただきたい。

(3) 調査 G

植田幹事より令和4年度ふりかえり及び令和5年度活動計画について報告があった。

- ・令和4年度の住宅相談はいずれも無償段階の回答を行った。相談者からの返信内容から要求は満たしていると判断できたので、今までの方法で問題ないと思われる。課題として、見落としを防ぐための「回答作成のチェックリスト等の作成」があげられる。
- ・有償回答に関しては、お金がかかると本部とのやり取りが生じる。
→総務Gで本部に現状どうしているかを確認してほしい。(1/20長沼幹事→本部菱沼様に確認)
- ・行政関係者とのヒアリング対応を行事Gと連携して行い、行政との連携を深める。
→愛知県の場合、防災安全局防災危機管理課は主に地震・水害の担当なので、宅地地盤や盛土地盤の担当部局に申し入れる必要がある(建築局、環境部局等)。

(4) 広報G

荒井幹事より令和4年度ふりかえり及び令和5年度活動計画について報告があった。

- ・イベントの開催報告については行事Gの負担も鑑みて、広報Gにて行いたい。
→異論なし。
- ・産官学の連携・協働・支援の推進を行いたい。名古屋大学との連携で何かイベントができないか考えている。
- ・一般市民への宅地地盤に関する啓蒙活動や相談窓口として、防災フェスタには毎年恒例行事として参加してはどうか、さらに参加できそうなイベント探しも行いたい。
- ・他支部のように自治体との協定を検討したい。
→NHKのTVで自治体へのアンケートを行っているので確認してほしい。協定ありきではなく連携したうえで協定に持っていくのがよいのではないか。
→業務でかかわった自治体に声をかけ行政側の考えを聞いて対応するのはどうか。

3. 来期予算計画について

桃井副支部長より来季予算計画に関して報告があった。

→名刺作成費(50000円)について間違いがないか確認してほしい。

- ・年次講演会・発表会の参加費は、3000円では赤字となる。4000円として予算を作成する。
- ・会場費が高いと言われている。企業の会議室を借りるなどしてはどうか。

4. その他

向井顧問よりNHKスペシャル「住宅地に潜む“盛土リスク”阪神淡路大震災残された課題」(2023年1月14日放送)について報告があった。

H. 次回幹事会の予定

3月17日(金) 15:00~16:30 R5計画確定・総会案内準備など。